

2019年

ちゃれいば 2号

レター

チャレンジいばらき県民運動広報紙

東の辻環境美化クラブ

花いっぱい運動が生んだ地域の環境再生のものがたり



花いっぱい運動がきっかけで悪臭漂う湿地帯が美しい水源に ～ご近所同士で協力してつくりあげた町内のたからもの～

平成13年
不法投棄が目立ち藪に覆われていた頃の東の辻水源



現在の東の辻水源



東の辻水環境美化クラブのみなさん



町内のおばあちゃんより寄贈された公民館

今では、東の辻二部の遊歩道として素晴らしい景色で人気の石岡市東の辻水源は、元々、農業用のため池だったそうですが、その後汚水が流れこみ、悪臭が漂いだすと近隣住民も近寄らない荒地になっていきました。

きっかけは、花いっぱいコンクールで知事賞をとったこと。

その頃、東の辻二部町内会は、昭和46年の国体を契機に通学路の花壇作りを始めていました。

花と緑の環境美化コンクールで知事賞をとると、町内から水源の再生を訴える声が上がりだし、当時の町内会長(佐藤信夫氏)を中心に、荒地と化した水源の再生に取り掛かりました。雑草対策や遊歩道の整備も全て近隣住民だけで行いました。水質浄化策として水循環システムの導入や霞ヶ浦睡蓮の移植、有機微生物浄化剤の投入などを実施したことで悪臭がなくなり、美しい景観となりました。

水源を中心にご近所同士がつながる

こうして花いっぱい運動がきっかけで始まった活動は20年の間に住民の憩いの場となり、年間を通して様々なイベントが開催されるまでに再生されました。私が感じたことは、住民の皆さんの熱意と信頼関係です。こうした活動の中から、旧会員の想いで寄贈された民家を、地域の公民館として活用、何より今回の事業がきっかけで、青年部が誕生したことは、模範となる地域です。

(記事：高橋推進員)

花と緑の環境美化コンクール受賞団体決定

県民運動のひとつとして、「花いっぱい運動」を推進しています。

花づくりをとおして地域のみなさんがつながりを深めるとともに、美しいまちづくりを進めることで私たちの地域に愛着を持っていただければと、私たちは願っています。



第1部門：フラワーロードの部知事賞
鳥栖新田花いっぱい愛好会
(鉾田市)



第2部門：おもてなし花壇の部知事賞
東野寺地区資源保全活動組織
(かすみがうら市)



第3部門：団体・職場の部知事賞
門部鹿島坪環境保全会
(鉾田市)



第3部門：団体・職場の部知事賞
株式会社昭と観光
(鉾田市)



第4部門：学校の部知事賞
那珂市立菅谷小学校
(那珂市)

その他の入賞団体は「チャレンジいばらき県民運動」ホームページにて掲載しております。



<http://www.daisuki-ibaraki.jp/>



企業・団体の地域ボランティア・社会貢献活動の紹介

チャレンジいばらき県民運動は、地域の抱える困難な課題に、共助の精神を持って活動し、新しい県民運動を展開しています。

このシリーズではチャレンジいばらき県民運動の会員である企業・団体の皆様のさまざまな先進事例や継続して行われているボランティア活動などを紹介していきます。

企業とはぐくむ
地域社会の未来

イオンリテール株式会社 茨城事業部

地域コミュニティの一員として、地域をよくする活動団体と地域にくらす人の架け橋

「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」のとりくみ

毎月11日（イオン・デー）のお買物精算時にお客さまにお渡しした黄色いレシートを、店内に設置している団体名や活動内容が書かれた専用BOXに自らご投函いただくことで、そのレシート合計金額の1%相当の品物を、地域のボランティア団体さまに寄贈する取り組みです。

サポートを必要としている団体と、「応援したい」という気持ちをお持ちのお客さまを結ぶ懸け橋になれるように、この取り組みを積極的に推進しています。

イオンは地域のコミュニティの一員として、「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」だけでなく、「環境」そして「社会」の両面でそれぞれの地域に根ざした活動を多くのステークホルダーの皆さまと推進していきます。



いばらきコープ生活協同組合

販売したペットボトルや牛乳パックをリサイクル、その資金を環境を守る団体に助成

「いばらきコープ環境基金」のとりくみ

社会貢献活動の一環として2000年に「いばらきコープ環境基金」を設立しました。翌年から、県内で環境活動を行う団体や個人への資金的な援助を開始しました。

基金の財源は、いばらきコープをご利用いただいている皆様から回収したペットボトルや牛乳パックなどをリサイクル業者に売却して得た利益です。この資金を「基金財源」として蓄え、茨城県内で環境保全活動を行うNPO法人や環境活動を行っているグループ・個人、学校関係等へ助成しています。

生協組合員一人一人のリサイクルの活動が環境基金の財源となり、それを有効に活用していただくことで環境を守る活動が広がっていきます。いばらきコープはその橋渡し役として茨城の環境保全活動の一翼を担えればと考えています。



一人になった時のために地域ができること

「男の料理教室」 潮来市ネットワーカー連絡協議会

今回18回目になる人気の「男の料理教室」はそば打ち。
アマチュアそば打ち名人、指導は遠藤勝久さんである。

「先生がとにかく褒めてくれるからうれしく楽しい。」「そばは見るのとやるのとでは大違い。」と参加男性は話す。段取りや失敗は、ヤル気と熱気で消してしまうほど。女性スタッフはなるべく手出ししないように見守り、困っているとすぐに対応していた。

開催当初はプロの料理人を講師に迎えていたが、それでは家でやらなくなってしまう。生活者が教えることで料理に抵抗感が減る。男性が一人でも参加しやすいように声かけも大切だそうだ。「電話してくれるのを待っていた。」というお声もある。今では参加者の半数以上がリピーターである。

潮来市ネットワーカー協議会は、立ち上げの当時から、男性の社会参画に取り組んでいる。夫婦もやがて一人になってしまう時がくる。その前に元気なうちから参加してほしいとの思いからだ。地域に貢献できるネットワーカーでありたいと22名が一丸となって取り組んでいた。

(記事：後藤推進員)



編集後記 (魅力発見・発信グループからひとこと)

男の料理教室感想 教室の中に入った感想は、とにかく楽しそうでした。男、特に、おじさん達が大勢集まって、さぞ、むさ苦しいと思っていましたが、皆さん笑顔で料理に取り組んでおられました。本日のメニューは、「おそば」。講師役のそばうち愛好家から手ほどきを受け、難しい生地の水加減やこねに悪戦苦闘しながら、「こんぐれーか」「そろそろいかっぺ」、いろいろな言葉が飛びかかっていました。中には、長年連れ添った伴侶に先立たれ、重い心持で参加されている方もいると聞いていましたが、この教室の中ではわき合い合い、この日を待ちかねていた思いが伝わってきました。そして、この教室が十五年継続していると聞き、また、びっくり。当初は、参加者を募るだけでも大変だったと伺いましたが、私達の活動は、いつの間にか義務のようになってしまいがちですが、人に寄り添って何ができるか、何をすべきか、もう一度考えなおす、良いお手本を見せて頂きました。

(記事：高橋推進員)

県民運動に参加しませんか？

チャレンジいばらき県民運動では、若い世代が県民運動に参加しやすい環境づくりを推進し、「幸せ人材育成のサポート」、「地域の幸せ力アップ」、「幸せ発信力アップ」の3つの柱を基本とする県民運動を展開しながら、県民・NPO・団体・企業・大学・行政などにより協働の推進や県民が学び交流するための場づくりに取り組んでおります。

チャレンジいばらき県民運動会員募集中！

団体会費 (年) 10,000円
個人会費 (年) 2,000円

チャレンジいばらき県民運動広報紙 2号
発行日：2019年1月7日 発行：チャレンジいばらき県民運動
お問い合わせ：チャレンジいばらき県民運動事務局
〒310-0011茨城県水戸市三の丸1-5-38
TEL：029-224-8120
FAX：029-233-0030
Email：info@daisuki-ibaraki.jp
HP：<http://www.daisuki-ibaraki.jp>

